

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	357,286,527	339,837,000	359,748,828	371,898,389	374,221,078	
支出合計	356,394,830	340,167,000	359,713,904	372,074,044	368,572,682	
収支差額	891,697	△ 330,000	34,924	△ 175,655	5,648,396	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	140,703人	71,267人	103,870人	142,003人	149,524人	
利用者 満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

新型コロナウイルス感染症の5類移行、こどもの国リニューアル等による利用者の大幅な増加が見込まれる一方、GWや夏休み等に加え、週末や祝日にも園内の駐車場が満車になるケースが頻発した。臨時駐車場の開設や無料シャトルバスの運行、警備員の配置等の経費が大きいかさむとともに、アンケートや窓口での利用者のクレーム等も増加した。集客面では、テレビ・ラジオCMによる隣接エリアへの告知PRやSNSの発信等に積極的に取り組んだ結果、利用者数は目標値を上回ることができた。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策も踏まえた施設の維持管理を適切に行い、利用者にとって安全安心な見学・体験学習環境の整備を心掛け、利用者目線を持ったきめ細かい施設運営に努めている。

令和5年度は、隣接する愛宕山こどもの国の再開にともない、こどもの国・科学館の共有駐車場の混雑問題と周辺道路への渋滞の問題等が発生したが、関係機関との協議や臨時駐車場を活用するなど工夫を凝らして対応を継続してきた。毎週末、駐車場満車状態が続き、利用者の引き返しによる入館者数の減少、科学館へのクレーム・抗議が想像以上に多かったなかでも、ひとつひとつ丁寧に丁寧に対応し、年度後半からは利用者数も伸び、利用者満足度も高い水準が保たれている。

指定管理者として、必要な点検・報告は適切に行われていた。また、科学教育に関する事業の実施に関しても、業務計画書のとおり実施され、適正に運営している。

引き続き、利用者増加・高い満足度の保持につながるよう、既存のプログラムや科学実験・工作のメニューの更新と新規開発に積極的に取り組み、充実度の向上を期待する。また、オンラインでの情報発信や施設・展示物の整備、管理を継続して丁寧に行い、様々な年齢層の利用者ニーズに対応した安心安全な施設の運営を望む。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

新型コロナウイルス感染症の5類移行後も、安全安心な施設の管理運営を第一にした施設運営に取り組んでいる。利用者ニーズを取り入れる形でキャッシュレス決済を導入するとともに、サイエンス屋台の開設等によるプログラムの多様化や新規メニューの開発、高度化等に取り組んでいる。さらに大村賞の発展的な取り組みとして新年度に「未来の科学者育成ラボ」をスタートする等、科学教育の普及促進にも積極的に取り組んでいる。R6年度は、今年度実績を約2.5万人上回る17万4300人の入館者数を目標としており、駐車場不足問題等の課題にも取り組みながら、出張科学館事業や各種の外部連携事業等の充実も含め、目標達成に向けて取り組んでいく。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立科学館

所管課 教育委員会 生涯学習課

指定管理者 山梨科学推進グループ

構成団体 株式会社テレビ山梨、株式会社コングレ、株式会社東急コミュニティー、株式会社デジタル・アンド・デザイン・ピクチャーズ

1 利用状況

(単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	入館者	140,703	71,267	103,870	142,003	149,524
	(うちスペースシアター観覧者)	(49,809)	(23,225)	(37,629)	(41,563)	(42,451)
	(うち学習利用者)	(12,378)	(8,535)	(11,066)	(11,717)	(12,578)
	(参考:主催事業参加者)	(193,369)	(100,357)	(149,016)	(215,188)	(208,697)
	利用者数合計	140,703	71,267	103,870	142,003	149,524
	目標値	182,073	186,640	162,580	190,620	145,300
	実績/目標割合	77.3%	38.2%	63.9%	74.5%	102.9%
	目標値の設定方法	平成30年度の実績数字を基に、弊グループ内企業の運営する他施設の実績等を加味して設定				
利用率	稼働率等(利用率)	486人/日	265人/日	343人/日	438人/日	461人/日
	稼働率等(利用率)の算定方法	利用者数÷開館日数				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等

3 補修工事等の状況(令和5年度)

(単位:円)

県	スペースシアター整備	64,231,300
県	レストラン空調設備改修 外3件	11,330,000
管	冷温水発生機部品交換作業代	396,000
管	月面歩行動作調査・作業費	382,030
管	他14件	1,448,480

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件60万円未満の修繕等は指定管理者が実施

*ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度)

(単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
2	随意契約	売上の20%・30%	363,195	0

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

5 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 入	A 収入額計	357,286,527	339,837,000	359,748,828	371,898,389	374,221,078
	施設利用料	39,301,190	19,214,374	29,606,500	35,509,090	39,807,910
	指定管理委託料	297,620,000	296,198,000	300,144,553	299,682,882	307,046,982
	追加委託料(感染症)	2,697,624	11,361,207	9,149,571	7,430,000	
	事業収入	6,735,610	5,138,514	8,871,520	13,769,299	11,449,970
	自販機収入	516,554	211,314	277,888	276,676	363,195
	レストラン収入	958,400	517,000	822,000	1,056,000	968,000
	売店収入	9,457,149	6,220,454	10,734,229	14,105,971	12,262,945
	その他(雑収入他)		976,137	142,567	68,471	2,322,076
支 出	B 支出額計	356,394,830	340,167,000	359,713,904	372,074,044	368,572,682
	人件費	115,684,119	116,143,726	129,632,290	130,603,905	154,073,882
	修繕費	3,772,462	1,625,695	2,679,610	2,719,915	2,288,130
	光熱水費	17,069,463	12,194,643	15,607,684	21,346,502	22,475,295
	諸謝金	272,701	352,320	397,021	447,924	208,115
	旅費交通費	315,357	127,746	132,628	167,878	333,848
	消耗品費	14,766,410	6,687,467	11,138,385	10,875,676	14,253,254
	燃料費	5,316,564	3,562,413	5,334,089	6,143,964	8,466,467
	印刷製本費	6,544,059	5,442,031	6,933,639	6,187,581	6,108,804
	通信運搬費	5,339,473	4,204,419	4,203,770	3,899,958	2,647,833
	広告料	14,152,912	7,664,063	9,680,811	10,343,080	10,910,900
	使用料	38,451,862	39,350,526	31,477,643	31,716,365	21,750,801
	租税公課	43,150	5,724,575	2,829,745	2,797,979	3,188,673
	食糧費	314,381	175,482	246,087	202,518	234,563
	保険料	109,210	125,770	265,363	221,386	144,830
	負担金	42,250	41,375	41,375	45,375	61,855
	本部経費	13,755,000	15,219,353	20,221,000	20,567,000	22,005,262
	ショップ原価	5,767,698	4,256,352	7,146,107	9,450,072	9,467,870
	その他(雑費)	283,399	170,181	187,185	211,205	1,015,637
	外部委託費	114,394,360	117,098,863	111,559,472	114,125,761	88,936,663
	清掃業務	13,106,700	13,094,552	13,226,840	13,226,840	13,226,840
	空調保守点検	3,302,700	2,232,300	3,082,200	3,082,200	3,082,200
	プラネタリウム保守点検	4,600,699	4,685,897	4,685,897	4,685,897	4,685,897
	企画展委託業務	15,917,423	13,537,733	14,793,762	19,927,589	20,731,177
	プラネタリウム番組制作費	18,200,000	26,680,000	32,035,000	22,225,000	19,965,000
	展示物保守点検	1,858,640	584,712	652,000	1,528,850	1,184,050
	その他	57,408,198	56,283,669	43,083,773	49,449,385	26,061,499
外部委託比率	32.1%	34.4%	31.0%	30.7%	24.10%	
収支差額(A-B)		891,697	△ 330,000	34,924	△ 175,655	5,648,396

一人当たり指定管理者委託料*	2,115.2	4,156.2	2,889.6	2,110.4	2,053.50
----------------	---------	---------	---------	---------	----------

* 指定管理者委託料÷利用者数(単位:円)

(参考)自主事業に係る収支状況

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
C 収入額計			330,000		220,000	550,000
D 支出額計						
収支差額(C-D)			330,000		220,000	550,000

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	プラネタリウム番組配給事業	・三瓶自然館 ・厚木子ども科学館	科学館

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	コロナ感染症の5類移行後も、安全・安心な管理・運営を第一に、引き続き感染症対策にも取り組みながら、利用者の回復状況に対応した。開館25周年を迎え、施設、設備の老朽化も著しいため、日常的なメンテナンスや定期点検等を通じて維持管理を徹底した。	継続して、法定点検業務等、施設の管理業務が業務仕様書・業務計画書に基づき適正に実施されている。 メンテナンスや点検から得た情報を、日常的に関係機関へ共有することで、修繕や設備更新につながり、施設の長寿命化や管理運営に努めている。
運営業務	利用者の導入要望が多かったキャッシュレス決済を導入し、入館処理の迅速化、簡便化等に取り組んだ。プログラムの多様化、高度化等に注力しながら、幼児から高齢者までより幅広い層に楽しんでもらえる科学館運営に取り組んだ。	運営業務や感染症対策について、業務仕様書、業務計画書等に基づき適正に実施されている。感染症対策も考慮し、工夫した新規企画・運営業務に取り組むことで、利用者の満足度向上につながる取り組みが実施されていた。
利用状況	駐車場問題等に積極的に対応する一方で、テレビ・ラジオCMやSNSの積極的な活用、隣接エリアへの告知PRへの取り組み等により、入館者数は目標を上回る結果となった。	駐車場混雑等の課題に真摯に取り組み、利用者増加繋がるよう積極的に取り組んだ点について、高く評価できる。引き続き、科学館の魅力や施設・プログラム・企画の紹介をSNS、CMを使い幅広くPRし、積極的に周知・広報することで、県内外の利用者数の増加を図っていくことを期待する。
収支状況	燃料価格の高騰等による収支の悪化状況が懸念される中、業務の効率化や経費の削減にも取り組み、指定管理料の燃料補填分を返還しても、翌年度に悪影響を与えないよう、管理運営した。	物価高騰や電気料金の高騰など社会経済の情勢が不安定な中でも、工夫を重ね、利用者サービスの向上策や経費削減に取り組むなどの経営努力は評価できる。
自主事業	コロナ感染症の5類移行に伴い、全国的に観光需要やイベント開催の回復が見込まれる中で、番組やイベント企画の営業活動に取り組み、売り上げの増加につなげた。	昨年に引き続き、感染症対策を考慮しながらも科学工作教室(サイエンス屋台)の新規メニュー実施や年代別のプログラムの企画・実施、多目的ホールを使った読み聞かせイベント等、積極的な取組は評価できる。今後も、利用者ニーズの取り込みに努め、満足度を高めるとともに、科学への興味関心を深める取り組みを継続していくこと。 引き続き、新規イベントやプログラムの企画・運営に期待する。
利用者満足度	各プログラムとも、引き続き高い満足度を保っており、利用者ニーズを積極的に取り入れた取り組みが評価されている。展示施設のリニューアルや駐車場の混雑解消等には、引き続き多くの要望が寄せられており、今後も問題解決に積極的に取り組んでいく。	感染症対策を継続した環境の中、施設全体の満足度の割合が90%以上維持できたことは評価できる。キャッシュレス決済を導入し、施設環境の充実が図られた。引き続き、利用者アンケートの回答をもとに魅力あるプログラムを提供することで、満足度を高める工夫をしていくこと。併せて、駐車場の課題への対策も含め安心安全な施設管理を行い、利用者満足度向上に努めること。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進業務の内容	評価	改善内容
冬季(12~2月)の利用者確保	【目標値】 23,924人(前年度利用者数×1.02) 【実績】 25,691人。達成率104%	駐車場関係の課題による利用者減少の問題があったが、冬期以降、目標値を上回り達成することができた。利用者確保となる運営・新規企画等の取り組みを引き続き実施すること。
科学教育に対する多様な事業の実施	【指標】年間の企画展やイベントの実施回数 【目標値】 4回 春季・GW・夏季・秋～冬季に各1回 【実績】4回。達成率100%	目標値を達成しているが、引き続き、利用者アンケートからニーズを考察し、企画展やサイエンスショー(実験工作)などプログラムの新規企画・実施回数の増加等、積極的に取り組むこと。
科学教育を目的とした事業の実施(科学工作教室)	【目標値】 7,190人(前年度利用者数×1.02) 【実績】 6,746人。達成率94%	概ね目標値を達成することができた。R6年度からの科学工作教室の団体予約枠を個人予約も可能とする変更の対策に利用者増加を期待する。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

